

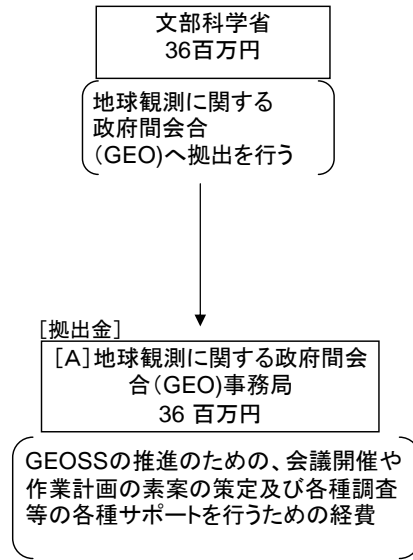
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	地球観測に関する政府間会合(GEO)		<b>担当部局庁</b>	研究開発局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度～		<b>担当課室</b>	環境エネルギー課		環境エネルギー課長 田口 康		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画 (平成17年2月16日第3回地球観測サミット)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画」に基づき、各国が衛星、海洋、地上観測から得られた地球観測データやそれらのデータを活用した気候変動予測結果等を共有し、地球規模課題への対応に向けた政策決定等に貢献する全球地球観測システム(GEOSS)を国際協力により構築する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	地球観測に関する政府間会合(GEO)は、「全球地球観測システム(GEOSS)10年実施計画」の実施を推進する政府間の組織であり、現在、80か国、EC、56機関が参加している。GEOの枠組の下、地球観測サミット(GEO関係会合)、GEO本会合、執行委員会及び専門委員会等が開催され、観測システムの整備、データ提供、研究開発、能力開発等の活動が行われている。また、スイス・ジュネーブの世界気象機関(WMO)本部内に設置されているGEO事務局が、会議開催、関係国・機関間の調整や各種サポートを実施している。本事業はGEO事務局に対して、会議開催等の経費を拠出するものである。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	40	37	36	34	34	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	40	37	36	34	34	
	執行額	40	40	36				
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	定量的な成果目標の設定は困難(GEOへの拠出金の支払であるため)	成果実績	—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標の設定は困難(GEOへの拠出金の支払であるため)	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—	
					( — )	( — )		
<b>単位当たり コスト</b>	単位あたりコストの算出は困難(GEOへの拠出金の支払いであるため)		算出根拠	—				
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	地球観測政府間会合 拠出金	34百万円	34百万円					
	計	34百万円	34百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>我が国はGEOの主要国として執行委員会のメンバー国(13ヶ国)の一つとなっており、1年に3回程度開催される執行委員会会合において、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認している。また、GEO事務局へ職員を派遣するなど、効果的・効率的な事業実施を確保する体制を整備している。</p> <p>また、GEO事務局に対しては、英国国立監査機関が会計検査を行っており、適切な会計の執行が行われていることを確認している。</p> <p>尚、平成23年度の事業については、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、他国の拠出の動向も踏まえつつ、予算を縮減した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>1. 事業評価の観点:この事業は、全球地球観測システム(GEOSS)を国際協力により構築するため、地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局に対して拠出金を拠出する長期継続事業である。</p> <p>2. 所見:長期継続事業であるが、「GEOSS10年実施計画」の計画期間中であり、地球観測システム統合に向けた動きが加速している中で、現行において見直すことは困難なことから、現状を維持すべきである。ただし、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、引き続き、GEO事務局に適切な事業執行を要請するなど、事業の効率化を一層進めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見に基づき、概算要求においては現状の規模を維持するとともに、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認する執行委員会会合において、執行委員会のメンバー国の一つである我が国も引き続き当該会合に参加し、効果的・効率的な拠出金の運用を確認するとともに、GEO事務局へ職員を派遣するなど、適切な事業実施を確保する体制を整備する。なお、GEO事務局に対しては、英国国立監査機関が会計検査を行っており、適切な会計の執行が行われていることを引き続き確認する。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



A.地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
地球観測政府間会合拠出金	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局の活動に資する経費	36			
計		36	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地球観測に関する政府間 会合(GEO)事務局	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局の活動に資する経費	36	—	—

※入札者数及び落札率は拠出金のため「—」としている。